日旅連12支部連合会、20年度の事業計画

東北支部連合会
DCへ重要な1年

髙橋明浩会長

日頃より東北支部連合会の事業活動に対して日本旅行グループ並びに連盟会員の皆さまより多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月の改元や10連休となるゴールデンウイーク、ラグビーワールドカップ日本開催等、期待の高まる1年が予想されておりましたが、6月山形県沖地震、8月福島県沖地震、9月・10月の大型台風等、またもや自然災害の脅威にさらされた厳しい1年となりました。

しかしながらゴールデンウイーク効果や10～12月の新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンでの山形地区会の取り組み、東北6県での単県商品の造成などの取り組みが功を奏し、東北6県全ての地区会において企画商品実績対前年112・4%と前年を上回り、なんとか東北支部連合会合計でも前年をクリアすることができました。ご協力いただきました連合会会員の皆さま、日本旅行東北はじめ、東北赤い風船企画センターの皆さまにも重ねて感謝申し上げます。

本年2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、東北でも宮城県で男子サッカーと女子サッカー、福島県で野球と女子ソフトボールの開催が決まっております。国内はもちろん海外の多くの方にも東北の魅力をアピールするチャンスと捉え、Red Balloonをはじめweb商品ラインアップの充実に連合会として積極的に取り組んでまいります。

また本年は、震災から10年の節目となる2021年に開催することが決定をした「東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）」に向けた重要な1年であると考えております。東北全体でのDC開催は1985年以来、36年ぶり2度目であり、DCの開催期間は通常3カ月間のところ、初の6カ月間となるこの東北DCを一過性のイベントに終わらせることがないよう、観光コンテンツやサービスに付加価値を付け、観光消費の拡大を図るため、各地区会ごとに新たな観光素材の開発や既存素材のブラッシュアップに取り組み、商品化に向けた取り組みを強化していくことと致しました。東北支部連合会は観光の新たな基盤づくりにも取り組んでまいります。

東北DCのキャッチコピーは「巡るたび、出会う旅。東北」。巡るたびで「さまざまなテーマと周遊」、出会う旅で「単県ではアピールできなかった新たな魅力の創出」としています。またDC初となる訪日外国人観光客を対象としたキャッチコピーの英語版「VISIT TOHOKU, FIND JAPAN」も決定致しました。引き続き、日本の原風景や伝統文化、食や酒などの「東北らしさ」、「東北ならではのおもてなし」を各地区会が連携し一体となって魅力づくりに取り組んでまいります。関係各位のより一層のご支援、連合会会員皆さまのご協力をお願い申し上げます。

長野支部連合会
ワイン列車で誘客

齊藤茂行会長

日頃より長野支部連合会の事業活動に当たり多大なるご支援、ご協力をいただいております日本旅行グループ並びに会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

昨年はゴールデンウイーク10連休という新たな時代の特需がございましたが10月の「台風19号」の自然災害では大きな被害を受け、交通インフラの重要性に改めて気付かされた年でありました。

地域からの誘客という観点では、長野県唯一の空港である信州まつもと空港を結ぶ地域が福岡空港、新千歳空港に加え神戸空港が加わり、また一つ大きなマーケットが対象になりました。

今後、北海道や九州と同様に関西からの誘客に寄与できるよう商品造成、キャラバン、現地研修等さまざまな観点での努力をしていかなければなりません。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、この期間中のお客さまの動向がはっきりとしないのが現状であります。

外国人旅行者をはじめ多くのお客さまに長野県へお越しいただけるように長野支部連合会では昨年度に引き続き「信州ワイントレイン」を運行し、信州の代表的な観光素材として新たな魅力をアピールしていきたいと考えております。

また、来年度には善光寺の御開帳が控えております。関係箇所と連携し、招へい事業、観光素材づくりや情報の発信を行い、年間を通じて誘客を図るべく取り組みを再強化してまいります。

以上、これらの事業活動の推進を図るため、Nic長野地区会や信州日修会ともさらなる連携を強化し、取り組んでまいりたいと考えております。本年度もぜひ皆さまからのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部支部連合会
大河で注目浴びる

金原貴会長

平素は日旅連中部支部連合会の事業活動に対し、皆さま方より多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「平成」から「令和」へと改元され即位の礼などの祝賀行事、ラグビーワールドカップ開催など国際的な行事やゴールデンウイークの10連休、年末年始の9連休、JRDCキャンペーンが4月～6月静岡で開催され、大きな旅行需要がありました。

特にJRセットプランに注力されている日本旅行グループにおかれましては、多くのお客さまをご送客いただくことができました。

また一方では、台風15号、19号の暴風、豪雨浸水被害により多くの方が被災され、今も避難生活をされている方々には、心よりお見舞い申し上げます。

中部地区においては、昨年、三重県津市に家族で「遊べる」「学べる」「創れる」をコンセプトの「ベビースター」のテーマパークがオープンし、また本年は、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」のテーマ館が岐阜市、可児市、恵那市にオープンして注目を浴びております。

そして、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から多くお客さまがお越しいただけるものと思います。

本年の干支、子（ねずみ）年は十二支の中で最初であり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年として、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。またねずみはたくさんの子を産むことから繁栄の象徴とされ、「子年は繁栄」で上げ相場になるといわれています。

日本旅行でも本年度から新しく6カ年計画の中期経営計画「TRANSFORM2025」がスタートしています。地域ならではの素材を発掘し、発信するとともに域内需要の拡大を目指し、一層の域内強化を図ってまいります。

本年も、皆さま方のさらなるご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

関東支部連合会
中計と連動で増売

森田繁会長

平素は関東支部連合会の事業活動に対して日本旅行グループ並びに会員の皆さまからのご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は度重なる台風上陸を受け、当連合会、とりわけ千葉エリア、箱根エリアで多大な会員施設への被害影響がありました。国内外のお客さまが激減しましたが、ふっこう割や日本旅行グループ各部署にご協力いただいた災害対策の効果もあり、現在は復調しています。一方、「4～6月静岡DC」では多くのお客さまの誘致により、伊豆地区の宿泊券増売の成果を上げることができました。そのような環境の中、連休効果もあり連合会内の宿泊実績は前年を超えることができました。日本旅行関係各位のご協力に感謝申し上げます。

さて、本年度の関東支部連合会での取り組みの基軸は、本年が初年度の日本旅行グループ中期経営計画「TRANSFORM2025」に連動する宿泊券増売に向けた種々事業の実施案、実施します。特に4～6月には「群馬DC」が開催されます。昨年のプレDCではその効果も相まって、当該地域としては、堅調な実績を残すことができました。本番の本年に大きな期待をするところで、「地方創生・活性」を名実ともに語れるよう、会員施設も努力する所存です。

併せて、「社員現地研修」を本年も強化してまいります。日本旅行グループ社員の方に現地にお越しいただき、各地の素材をお客さまへご提案いただきたいと思います。

最後になりますが、関東仕入・誘客推進センター、伊豆箱根仕入・誘客推進センターと連携し、地域の魅力をさらに磨くための取り組みを各地で考えていきたいと思います。本年も、関係各位のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年の日旅連本部通常総会

北陸支部連合会
地の利生かし集客

吉田眞啓会長

平素は日旅連北陸支部連合会の活動に対しまして、会員の皆さま、そして日本旅行グループの皆さまに多大なるご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。昨年は1月～3月は天候に恵まれ、春には令和への改元に伴う長期の連休効果もあり、幸先の良いスタートを切ることができました。しかし、GWの反動による出控えや、10月の台風により北陸新幹線がしばらくの間運休となり、終盤はかなり苦戦を強いられる結果となりました。

JR西日本様、JR東日本様の迅速な復旧活動のおかげをもちまして、現在は北陸新幹線は臨時便も含め全面復旧し、3月には開業5周年を迎えます。本年度の北陸支部連合会の取り組みと致しましては、行政や各観光協会の皆さまとより一層連携し、関東圏からの北陸新幹線はもちろん、関西圏からの特急サンダーバード、中京圏からの特急しらさぎと大市場からの恵まれた地の利を生かし各方面からの集客を目指します。

関西圏においては、既に1月にJR京都駅西口で初となる北陸への誘客PR活動を実際致しました。今後も各支店様でのキャンペーンや誘客キャラバンなど、旅連はもちろんNicや運輸各社とも一体となり誘客に取り組んでまいります。夏には団体臨時列車も計画していただいており、JRを利用した商品展開とご送客をいただけるように活動してまいります。

また、同じく元来お客さまが多い中京圏においてはJRはもちろん、マイカーでもお越しいただきやすい身近な地域でありますので、関西圏と同様に北陸の良さや地の利を生かした魅力的な商品展開と誘客活動に取り組んでまいります。

そして、いよいよ3年後に迫った北陸新幹線の敦賀延伸に向けて、関東圏においては、北陸3県の各自治体の皆さまやJR西日本様、JR東日本様、仕入センター北陸協議会様と連携し、冬の北陸の味覚に対してご理解いただく機会である「冬の北陸美食フェア」の開催や、各支部単位での誘客活動にも取り組んでまいります。

重点地域としてはもう一点、昨年の北陸新幹線運休の際に支援施策を展開していただいた地元北陸の各支店様とも引き続き強いパートナーシップを構築し、北陸域内の顧客獲得に努めてまいります。

今年は新たな中期経営計画が発表されました。変化に機敏に対応し、日本旅行様との連携をさらに深め、営業推進委員会を中心に具体的な計画を立案し、実施していただくことで会員施設が少しでも多くの恩恵を受けられるように活動してまいります。会員の皆さまにはより一層のご支援をいただくとともに、積極的な事業へのご参加をお願い致します。

山梨県石和温泉郷のリゾート旅館 華やぎの章 慶山
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 822
TEL：055-262-2161　FAX：055-262-4162
山梨県石和温泉　慶山グループ 華やぎの章 甲斐路
〒 406-0024　山梨県笛吹市石和町川中島 1607-40
TEL 055-262-7373　FAX 055-263-5677

北陸新幹線
黒部宇奈月温泉駅から
車で10分
金太郎温泉
金太郎温泉
〒937-0013
富山県魚津市天神野新 6000 番地
TEL.0765-24-1220

光り輝く令和の世界遺産、平成の大修理完成へ。

日光東照宮に一番近い宿
ホテル清晃苑
TEL:0288-53-5555FAX:0288-53-5554

旬の懐石と1ランク上のおもてなし
日光千姫物語
TEL:0288-54-1010/FAX:0288-54-0557

仙台伊達公別邸跡の宿
日光東観荘
TEL:0288-54-0611/FAX:0288-53-3914

懐かしき大正ロマンの宿
ホテル春茂登
TEL:0288-54-1133/FAX:0288-53-3509

春茂登ホテルグループ　http://www.hotel-harumoto.com/hhg/

世界遺産
「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町

松下村塾

恵美須ヶ鼻造船所跡

萩反射炉
世界遺産「萩城下町」の宿
萩城三の丸 北門屋敷
〒758－0057 山口県萩市掘内 210-12
TEL0838－22－7521　FAX0838－25－8144
http://www.hokumon.co.jp
毛利三六万石の城下町、長州・萩。
萩城からほど近い、かつて城を守る
重臣たちが居を構えた萩城三の丸、
毛利屋敷跡に、北門屋敷はあります。
江戸時代からほとんど変わらない町割りと、
維新前夜の面影が色濃く残る場所。
武家屋敷の風格と凛とした空気に、
往時の息づかいが感じられます。
国の重要伝統的建造物群保存地区、
そして世界遺産「萩城下町・旧上級武家地」
であるこの場所に許された、唯一の旅館。
ようこそ北門屋敷へ。

当館表門前にも石碑がございます。